

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	入居者お一人ひとりのアセスメントを実施しケアプランに添った支援はほぼ出来ていると考えるが、もう一步踏み込んだ支援が提供できないだろうか？生活の質(その方の満足度)の向上を考えたい。	入居者個別のグループホームでの「生活満足度向上」を目指す	①センター方式シートの見直し ②アセスメントの見直し ①・②実施後検討会を開催し出来ることから順次行動する。	6ヶ月
2	21	職員は入居者本位の支援に日々努めているが、ご家族を今以上に巻き込んだ入居者支援が出来ないだろうか？	ご家族と職員が今以上の信頼関係や協力体制を築ける。	家族会などの家族間の交流の場を増やす。専門職による認知症勉強会や職員の事例検討会などへご家族の参加を促しホームとご家族が認知症への理解を深める場を提供する。レクや行事を通じて入居者、ご家族、職員が一体感を感じられるように努める。	12ヶ月
3	35	開設8年目を迎え、認知症の周辺症状進行や持病の進行に伴い対応困難な入居者が増加傾向にある。医療分野・介護分野の更なる知識習得と工夫が職員に必要となっている	認知症や様々な病気に対する知識力と症状に対する対応力を持つ。	職員の社内、外の研修参加を促す。ホーム看護師を中心に社内研修の場を多く設ける。看護師、職員の質疑応答ファイルを作成する。事例検討会を開催し全職員で考えるケアを実践する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。